

HOPEレポートX 団塊リサーチ 「団塊夫婦の定年意識」に関する調査

85%の団塊夫が「定年が楽しみ」。40%の妻は「憂うつ」。

定年後のイメージの夫婦の違いが明らかに

夫は「のんびり・気まま」が理想。妻は夫に「活動的に・交流して」欲しい

博報堂エルダービジネス推進室では、50歳以上のエルダー生活者について、常時さまざまな調査・研究を実施しておりますが、このたび、2007年から団塊世代が定年を迎え始めることを念頭に、「団塊世代の夫とその妻の定年に対する意識調査」を博報堂独自の調査パネルである<団塊&フィフティーズハイパネル>で行いました。その速報がまとまりましたのでご報告申し上げます。

今回の調査は、首都圏および関西の「団塊世代（昭和22年～25年生）の夫」とその妻に合計234組 合計468名に対し、2004年8月上旬～中旬にかけてインターネットで調査を行ったものです。

その結果、団塊夫の85%が「定年が楽しみ」と考えていることが明らかになりました。団塊男性は、従来の一抔の寂しさのある定年観とは、かなり違った感覚を持っているようです。しかしながら、一方で、その妻の40%は「憂うつ」と感じていることがわかりました。

また、夫は定年後には「ビジネスから離れ」「自分の世界を第一に」「のんびり」過ごしたいと感じているのに対し、妻は「できればビジネスに関わり」「外部との交流を第一に」「活動的に」過ごして欲しいと思っており、定年後の夫の生活に対する理想像に夫婦間のギャップがあることがわかりました。定年後に努力すべきことでも、「夫婦で楽しむ姿勢」を重視する夫に対し、妻は「家事協力」を願っているなど、夫婦間の意識のずれが見うけられました。

また、夫婦共に「パソコン」にチャレンジしたいという人が多く、夫婦で一緒にしたいことは「国内旅行」「海外旅行」が夫婦共に圧倒的に高いなど、団塊の定年後のマーケットの可能性も見えてきました。

<調査結果トピックス>

「定年が楽しみ」な男性は、85.4%と大多数。一方「夫の定年が憂うつ」な妻は4割近くの38.8%。

定年後の夫の生活イメージ、夫は「ビジネスから離れ、のんびりと自分の世界を楽しみたい」が、妻が望む夫の定年後は「できればビジネスに関わり、活動的に外と交流する」生活。

定年後に、「努力すべきこと」にも、夫婦の考えにギャップ。夫が考えているのは「趣味を持つ」「夫婦で一緒に楽しもうとする」だが、妻が願っているのは「家事への協力」がトップ。

定年後「自分でパソコン/インターネットを楽しみたい」男性は、全体2/3以上の67.3%、女性も43.2%。エルダー層のパソコンブーム到来の予感。「夫婦で楽しみたいこと」は、夫婦共に「国内旅行」「海外旅行」の順。

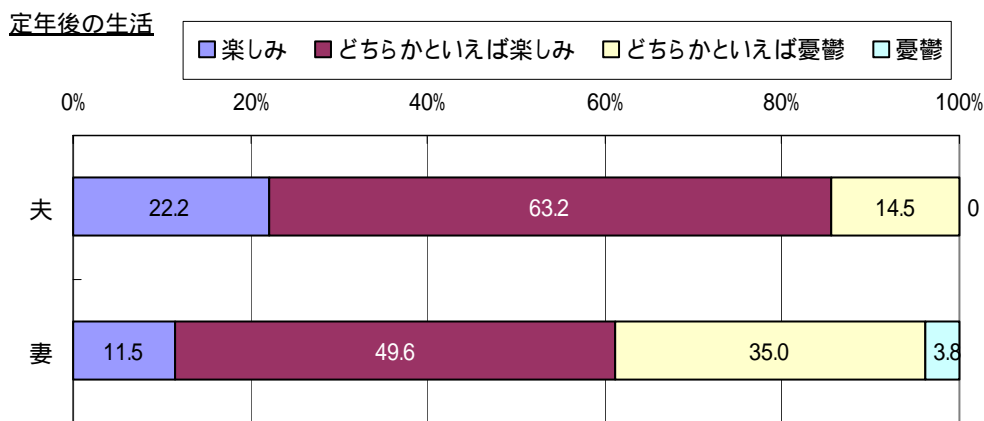
夫婦共に7割以上が定年後の「健康」「経済」に不安。6割以上が「介護」の不安。夫よりも妻のほうが多少悲観的。

添付資料：調査データ

調査概要	調査時期：2004年8月初旬～中旬 調査地域：東京40km圏および大阪/京都/神戸 調査対象：団塊世代（1946-1950年生）男性とその妻 234組（468名） 調査方法：事前面接にてパネルを設定したインターネット調査（Hi-panel）
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

「定年が楽しみ」な男性は、85.4%と大多数。一方「夫の定年が憂うつ」な妻は4割近くの38.8%。夫婦の「定年意識」にずれ。

夫が団塊世代の夫婦それぞれに、定年が楽しみかどうかを聞いてみると、団塊男性は「楽しみ（楽しみ+どちらかといえば楽しみ）」が85.4%とかなりの大多数に上りました。いっぽうで、約4割にあたるその妻は「憂うつ（憂うつ+どちらかといえば憂うつ）」と答えており、夫婦間での「夫の定年」についての捉え方のギャップが明らかになりました。



また、このうち「夫婦共に楽しみ」は約半数の56%で、「夫婦共に憂うつ」は1割の10%。「夫は楽しみ・妻は憂うつ」な夫婦が約3割の29%でした。

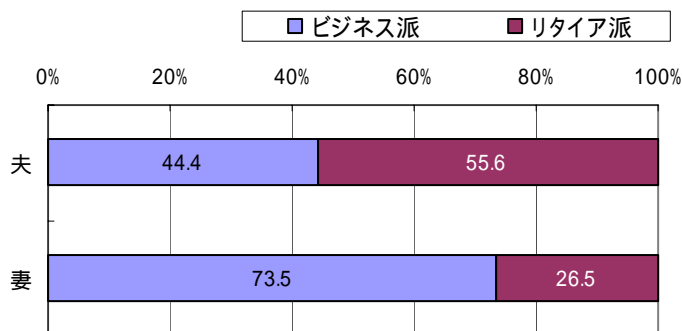
楽しみ・憂うつの夫と妻の分布

		妻	
		楽しみ	憂うつ
夫	楽しみ	56%	29%
	憂うつ	5%	10%

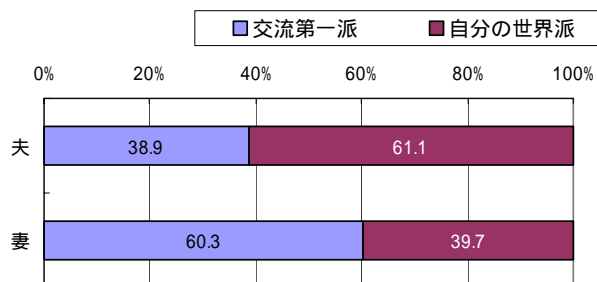
定年後の夫の生活イメージ、夫は「ビジネスから離れ、のんびりと自分の世界を楽しみたい」が、妻が望む夫の定年後は「できればビジネスに関わり、活動的に外と交流する」生活。夫婦で正反対のイメージ。

夫の定年後の理想的な生活については、夫婦の考え方の違いがはっきりと現れました。夫は「仕事はリタイア派：55.6%」「自分の趣味や世界第一：61.1%」「気ままにのんびりと：61.5%」という意見が多数だったのに対し、妻は「できればビジネスに関わる：73.5%」「人との交流を第一に過ごす：60.3%」「活動的で刺激的な生活：53.4%」を夫に求めている人が多くなりました。「家でゆっくりしたい」と考えている夫に対し、妻は「活動的に、出かけて欲しい」と思っているようです。

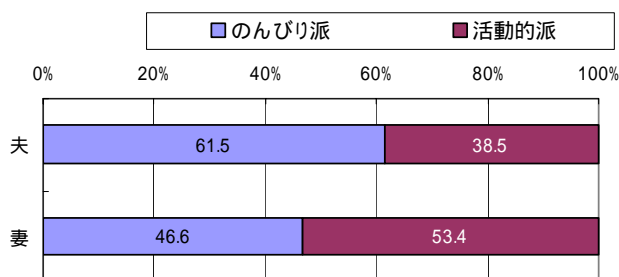
夫の定年後の理想



夫の定年後の理想



夫の定年後の理想

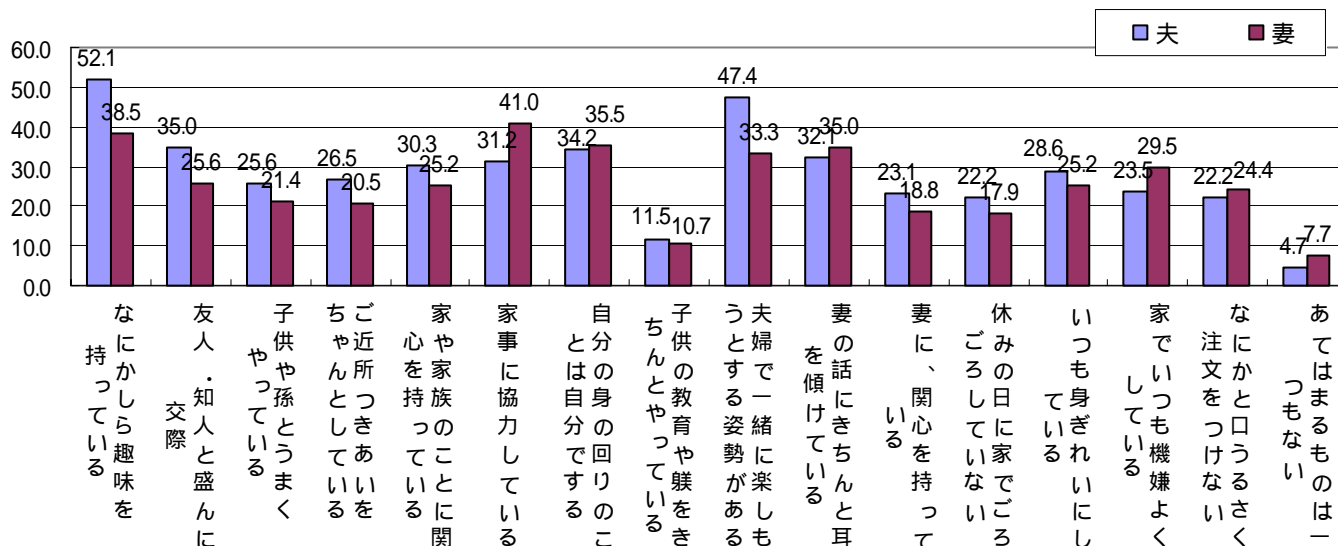


定年後に、「努力すべきこと」にも、夫婦の考えにギャップ。夫が考えているのは「趣味を持つ」「夫婦で一緒に楽しもうとする」だが、妻が願っているのは「家事への協力」がトップ。

定年後に夫が自分で「努力すべきだ」と感じている項目のベスト3は、「趣味を持つ：52.1%」「夫婦で一緒に楽しもうとする：47.4%」「友人知人と交際：35.0%」でした。一方で、妻の夫に対する要望ベスト3は、「家事への協力：41.0%」「趣味を持つ：38.5%」「身の回りのことを自分でする：35.5%」でした。

「趣味を持つ」ことの重要性は夫婦共に認識しているようですが、妻が夫を10%近く上回った項目が「家事への協力」であったように、夫が思っている以上に、「家事や身の回りのこと」について、きちんとして欲しいと妻は思っているようです。

一方で、男性が思っているほど、妻からは夫婦づきあいや交友についての要望は低く、「理想の定年ライフ」を追い求める夫と「現実の生活」を痛感する妻の間にギャップがありそうです。



定年後「自分でパソコン/インターネットを楽しみたい」男性は、全体2 / 3以上の67.3%、女性も43.2%。エルダー層のパソコンブーム到来の予感。

「夫婦で楽しみたいこと」は、夫婦共に「国内旅行」「海外旅行」の順。

「友人と楽しみたいこと」がいっぱいある妻と、「スポーツ」以外の交友があまり思いつかない夫。

「定年後に楽しみたいこと」を相手別に聞いてみました。「自分で楽しみたいこと」では、「パソコン/インターネット」と答えた人が、男性では2/3以上にあたる67.9%、女性でも43.4%もあり、今後エルダー層に「パソコンブーム」が来ると思われます。また、「自分で楽しみたいこと」は、男女の違いが大きく、男性の上位にある「スポーツ：43.2%」「写真撮影：35.9%」「株取引：32.5%」などは、妻では上位に上がっていません。

「夫婦で楽しみたいこと」では、夫婦の違いは少なく、「国内旅行」「海外旅行」は夫婦共に1,2位で、特に、男性は8割以上が「国内旅行」7割以上が「海外旅行」に夫婦で行きたいと答えています。夫と妻の項目で違いがあったのは、男性の8位の「ショッピング」で、男性は4割近くの39.7%が「妻とショッピング」を考えているのに対し、「ショッピング」を上げている妻は約半数の22.3%でした。妻は「自分でショッピング：53.0%」「友人とショッピング：26.1%」と、ショッピングは夫以外に行きたいと考えているようです。

夫婦の違いで特徴的なのが「友人と楽しみたいもの」でした。妻は「食べ歩き：55.1%」「国内旅行：53.0%」「音楽鑑賞：33.3%」など、「友人と楽しみたいこと」が多くあるのに対し、男性は「スポーツ：41.9%」以外は、どの項目もスコアが低く、「特にない」が15.4%となっており、夫の「友人関係」の構築は不十分であるといえそうです。

<夫>

自分で楽しみたいこと ベスト10 (%)

1	パソコン・インターネット	67.9
2	スポーツ	43.2
3	写真撮影	35.9
4	散歩・ウォーキング	32.9
5	株取引	32.5
6	国内旅行	30.3
7	習い事	29.5
8	研究活動	27.8
9	ボランティア活動	26.9
10	海外旅行	26.1

夫婦で楽しみたいこと ベスト10 (%)

1	国内旅行	80.3
2	海外旅行	70.5
3	食べ歩き	62.0
4	日常の買い物や家事	47.4
5	映画鑑賞	47.0
6	散歩・ウォーキング	45.7
7	音楽鑑賞・コンサート	41.5
8	ショッピング	39.7
9	孫の世話	38.9
10	美術鑑賞	32.9

友人と楽しみたいこと ベスト10 (%)

1	スポーツ	41.9
2	国内旅行	20.5
3	カラオケ	16.2
4	特にない	15.4
5	コミュニティ活動	15.0
5	ボランティア活動	15.0
7	食べ歩き	13.2
8	パソコン・インターネット	12.8
9	海外旅行	10.7
10	若い人になにかを教える	9.0

<妻>

自分で楽しみたいこと ベスト10 (%)

1	習い事	58.5
2	ショッピング	53.0
3	国内旅行	47.4
4	パソコン・インターネット	43.2
5	日常の買い物や家事	39.7
6	料理	39.3
7	海外旅行	38.0
8	映画鑑賞	35.5
9	音楽鑑賞・コンサート	34.6
10	食べ歩き	33.3
10	ガーデニング	33.3

夫婦で楽しみたいこと ベスト10 (%)

1	国内旅行	67.9
2	海外旅行	64.1
3	散歩・ウォーキング	46.2
4	映画鑑賞	42.7
5	食べ歩き	40.2
6	孫の世話	40.2
7	日常の買い物や家事	39.3
8	音楽鑑賞・コンサート	35.9
9	美術鑑賞	31.6
10	ガーデニング	31.6

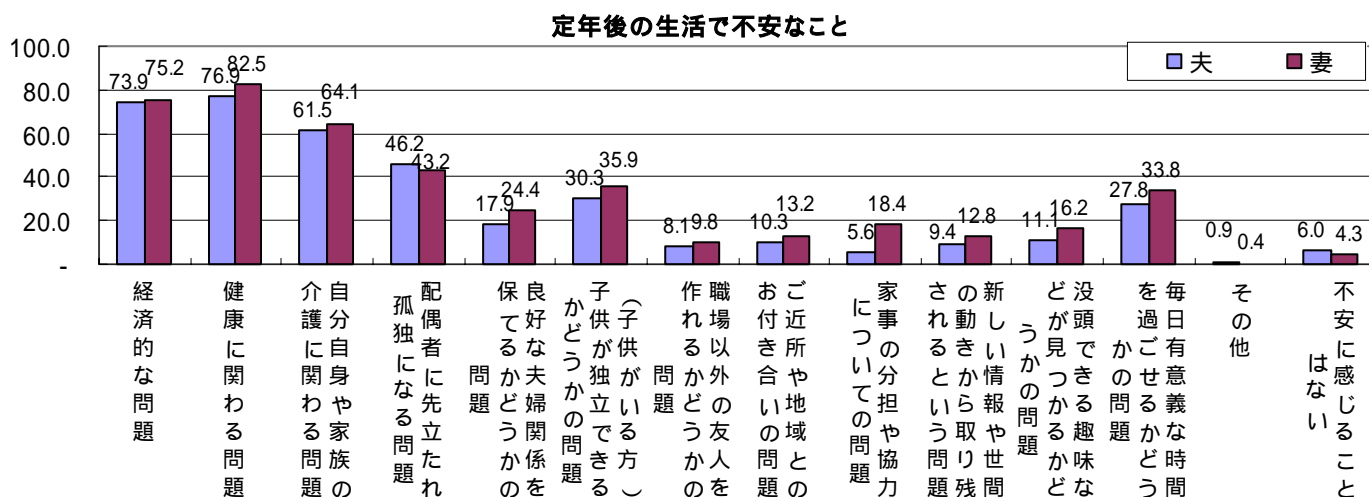
友人と楽しみたいこと ベスト10 (%)

1	食べ歩き	55.1
2	国内旅行	53.0
3	音楽鑑賞・コンサート	33.3
4	海外旅行	31.2
5	映画鑑賞	28.6
6	ショッピング	26.1
7	スポーツ	22.6
8	美術鑑賞	22.6
9	カラオケ	20.9
10	習い事	19.7

夫婦共に7割以上が定年後の「健康」「経済」に不安。6割以上が「介護」の不安。夫よりも妻のほうが多悲観的。

エルダー夫婦に、「定年後の生活で不安なこと」を聞いてみたところ、夫婦共に7割以上が「健康」と「経済」面の不安を上げました。また、「介護」についても、夫婦共に6割以上が不安を持っています。「健康」「経済」「介護」は、団塊世代にとっての「3大不安」と言えそうです。全体的に、妻のほうが多悲観的で、夫のほうが多楽観的であるといえそうです。

これらの不安に対して、「何らかの対応を今からとっている」と答えたのは、夫では60%、妻は58.6%で、「不安はあるが何もしていない夫婦」は、1/4以上の25.7%でした。



本件に関するお問い合わせ

博報堂	広報室	宮川	Tel : 03 - 5446 - 6161
エルダービジネス推進室		阪本・田中	Tel : 03 - 5446 - 4355

ご参考

エルダーの規定（博報堂エルダービジネス推進室による）

50歳以上の高齢者を「エルダー」と規定	
導入期	50～64歳
本格期（高齢者）	65歳以上
前期高齢者	65～74歳
後期高齢者	75歳以上

これまで発行したHOPEレポート

1. HOPE レポート ニューエルダーの登場（2001年5月・既報）
・ニューエルダーの登場 エルダー世代関係づくりのキーワードは「情報縁」
2. HOPE レポート 情報縁：つながる場（2001年7月・既報）
・ユニバーサルデザイン
3. HOPE レポート 情報縁：つながる関係（2001年8月・既報）
・エルダーの人間関係
4. HOPE レポート 情報縁：3世代コミュニケーション（2001年9月・既報）
エルダーの「子供」「孫」とのコミュニケーション
5. HOPE レポート 「エルダー層のお金に対する意識調査」（2001年11月・既報）
6. HOPE レポート つながるメディア「ラジオとエルダー」（2001年11月・既報）
7. HOPE レポート 「エルダーと旅」（2002年3月・既報）
8. HOPE レポート 「50代調査速報」（2002年7月・既報）
9. HOPE レポート 「HOPEサーベイ速報：エルダーとパソコン・携帯電話」（2002年10月・既報）
10. HOPE レポート 「50代60代1600名のお金に関する意識データ」（2003年3月・既報）
11. HOPE レポート増刊 『新しい大人文化』創造のヒント 『開け ひま』（2003年10月・既報）
12. HOPE レポート 「50代夫婦のパートナー評価」（2003年12月）
13. HOPE レポート 「エルダーの食生活調査」（2004年2月）
14. HOPE レポート 「エルダーと健康調査」（2004年4月）
15. HOPE レポート 「3世代（ジェネレーション）クロス調査」（2004年7月）
15. HOPE レポート 「団塊夫婦の定年意識に関する調査」（今回）

* このニュースリリースは高齢者も読みやすい11ポイント以上の文字を使用しています。
（11ポイントは、これ以上小さくなると読みにくくなる限度です）